審　議　の　結　果　（第１回　定例会）

議案件名等	議案の概要	結果	小林	吉田	橋本	古川	菊地	長田	畑	井土川	大河原	今泉	木原	渡辺
教育委員会委員任命同意	添田健男氏の新委員任命同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員任命同意	関根さなえ氏の新委員任命同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
鏡石町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定	マイナンバー制度導入に伴う個人情報保護に関する改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	マイナンバー制度導入に伴うカードの再交付手数料を定める等の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26年度上水道事業会計未処分利益剰余金の処分	地方公営企業法により31,000,000円積立処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q今泉議員「3千万の積立について、企業会計積立金と建設改良積立金は同じものか。7月末の出納検査で、企業会計担保金が上水道事業会計担保金となっているのは何故か」 ＝A上下水道課長「同じ積立金である」 ＝A出納室長「名前が違っているが、内容は同じものである。今後名称を統一したい」														
26年度上水道事業会計その他未処分利益剰余金変動額の処分	その他未処分利益剰余金変動額55,049,570円を資本金に組み入れるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26年度各会計歳入歳出決算認定	26年度一般会計外10会計決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	
一般会計補正予算(第２号)	基金積立79,8000千円、農地災害復旧工事費13,240千円等191,092千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	決算繰越金による保険給付費財源組替及び特定健診未受診者対策等35,014千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	
後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	決算繰越金による保険給付費財源組替及び特定健診未受診者対策等35,014千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	
介護保険会計補正予算（第１号）	決算繰越による基金積立等12,611千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	
工業団地会計補正予算（第１号）	南部工業団地事業費償還に1,110千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	
駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	駅東第1土地区画整理事業設計業務委託及び一般会計繰出金に6,974千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	
公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）	事業決算により一般会計繰出金に4,818千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	
農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）	事業決算により一般会計繰出金に738千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	

＊渡辺議長は採決に加わらないため空欄

決算審査特別委員会

平成26年の度各会計決算審査特別委員会（古川文雄委員長）は９月25日（金）午前10時から開き、付託案件である平成26年度鏡石町各会計歳入歳出決算認定について、３日間にわたり担当課ごとに審査を行いました。

特別委員会では、効果的な予算の執行をはじめ、多角的な視点から多くの質疑意見が出されました。そして慎重審議の結果９月29日（火）に各会計ごとに委員会における採決を行い、全11会計について認定すべきものと決しました。



決算審査特別委員会で決算について審議

一般質問・答弁要旨



畑　幸一議員

○安心安全な生活の確保
○放射能検査
○防犯カメラ設置

全７項目を質問

質問　原発事故による風評被害が根強く残る中、農産物等食品の放射能検査と安全性確保は、どのようになっているか。

産業課長　放射線モニタリング検査について、米は全量全袋実施され、野菜等の農産物は県のモニタリング検査と産地でのスクリーニング検査が行われている。町では学校給食と自家製野菜の検査を実施しているが、基準値を超える農産物は出ていない。

質問　犯罪の未然防止の観点から防犯カメラ設置は必要と思われるが、設置計画等は予定されているか。

総務課長　具体的な設置計画はないが、警察署や防犯協会等と協議し、必要に応じて設置したい。

質問　高齢化社会になり、地域密着型介護サービスは重要だが、内容はどうなっているか。

健康福祉課長　サービスの種類は夜間対応型訪問介護等11種類あり、事業者の指定は市町村が行う。町内には1事業所がある。

質問　放射能による健康不安は将来に渡り付きまとうもの。線量は低くとも、被ばくしていることは確かである。原発事故当時の在住者に、健康手帳を発行してはどうか。

健康福祉課長　町では原発事故被災者支援として、住民基本台帳記載事項記載証明という証明書を申請に基づき交付している。

質問　原発事故による自主避難世帯について、帰還する意思のある自主避難世帯に対する支援策は考えられないか。

総務課長　自主避難世帯に対する帰還支援では、県において転居費用を助成するという計画が進んでいるので、連携して情報提供等を行いたい。



吉田孝司議員

○保健医療福祉
○環境問題
○防災・減災交通安全

全23項目を質問

質問　国が推進している地域包括ケアについて町として、現時点における課題そして将来の展望をどう考えているか。

産業課長　町は地域包括支援センターを中心に医療機関との連携を強化しているが、サービスの一部不足が現在の課題であり、認知症高齢者を支えるケアシステムが今後必要である。

質問　放射線被曝と健康管理については、町民の皆さんからは言いづらい状況もある。今後町独自の放射能健康管理対策を講じる意思や計画はあるか。

健康福祉課長　町としてはバッチ式積算放射線量計による個人線量測定や移動式ホールボディカウンター車を利用した検査を実施している。

質問　県のスローガンである「うつくしまふくしま」を県全体で進めているが、町ではどのような美しい町づくりをしていくのか。

町長　町では震災復興計画を合わせ持った第5次総合計画を策定している。５つの行政分野で県の施策と歩調を合わせて事務事業を展開したい。

質問　町に若者が定住するような町づくりのために、どのようなアイディアを思い描いているか、具体的な方策はあるか。

総務課長　地方版総合戦略策定に向け、役場中堅職員中心に様々なアイディアが提案されている。働く場所の確保や子育て環境づくりが重要と考えている。

質問　不時沼地区に一部水はけが悪い箇所がある。冠水等水害対策は講じられているか。

都市建設課長　集水の要となっている個所が冠水区域となっており、国道拡張に合わせて大口径の排水管を敷設した。